

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ルブシ		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 8日		～ 令和7年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	20人	(回答者数) 18人
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 8日		～ 令和7年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 9日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの特性に寄り添った個別支援計画を作成しており、チームで個に応じた支援を行っている。	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げている。	業務改善案の全体周知と継続、定期的な見直しを怠らないよう徹底する。
2	定期的にモニタリングや保護者面談を行い、子どもの発達について、保護者と職員間で共通理解が図れている。	日頃から、子どもの状況を保護者と伝え合い、共感的に支援することを意識している。	現状の取組をさらに強化する。
3	運営規定や支援プログラム、利用者負担等について、詳細に説明を行い理解を得ている。	保護者に、運営規定や支援内容等を分かりやすく丁寧に説明することを徹底している。	現状の取組をさらに強化する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	一般住宅であるため、スペースに限りがあり、子どもの特性に応じた環境の整備に限界がある。	一般住宅であるため、改装等は難しい。	
2	きょうだいへの支援やペアレントトレーニング等の実施機会が少ない。		保護者の意見も取り入れ、来年度はご家族やきょうだい同士が参加できるイベントを企画したい。
3	保育所や認定こども園、幼稚園等と交流する機会がない。	発達段階が様々であるため、現状保育所等との交流会の必要性を感じていない。	今後は保護者の様々な意見を取り入れ、交流会等を検討していくことが必要である。